

新型コロナウイルス感染予防のための対策

京都工芸染匠協同組合

京都工芸染匠協同組合は、発表会開催にあたり新型コロナウイルス感染予防のための対策を下記のとおり実施いたします。

なお、当協同組合が発表会を開催する京都市京セラ美術館では、別紙の対策により開館されておられません。ついては、入館については京都市京セラ美術館の対策に従い感染予防を実施いたします。

当京都工芸染匠協同組合が実施する新型コロナウイルス感染予防対策

当協同組合が主催する発表会会場内では下記の対策を実施致します。

1 感染予防対策の考え方

- (1) 発熱者等の入場制限
- (2) 3つの密の防止（密接・密閉・密集）
- (3) 飛沫感染、接触感染の防止

2 具体的な対策

- a. 対人距離 2m(最低でも 1m)、来場者 1 人当たり 2 m²の可動面積の確保
- b. 受付場所での透明ビニールカーテン等の設置
- c. スタッフ及び来場者の催事当日会場での検温、体調確認の実施とスタッフへの「感染疑い発生時の対応マニュアル」(別紙)に基づく対応の周知
- d. スタッフ及び来場者の名簿管理及び接触確認アプリの活用と登録
 - ・京都市新型コロナあんしん追跡サービス
 - ・京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス「こことろ」
 - ・厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)
- e. スタッフ及び来場者へのマスク、フェイスガードの着用の実施
- f. 会場入口または会場内でのアルコール消毒液の設置
- g. 会場内で多くの方が手で触れる箇所の定期消毒
- h. 設営終了後、催事開始前の机・椅子等の消毒
- i. スタッフ等の催事前後や休憩時間などの交流・懇親を禁止
- j. 来場者の滞在時間 1 時間以内への取組（レイアウトのシンプル化など）
- k. 会場入口等への、来場者向けのコロナ対策周知文の掲示

3 来場者へ周知する内容

- a. 手洗い、手指消毒の実施
- b. 咳エチケット、マスク着用等の実施
- c. 発熱、風邪の症状、体調不良の方の来場自粛
- d. 会場での検温実施への協力依頼

- e. 感染発生に備えた、連絡先等の名簿作成への協力
- f. 接触確認アプリの登録

4 会場の換気

- a. 展示場では、出入口の開放
また、空調はビル管理法に基づく換気運転

5 開催規模について

(1) 展示場の収容人数について

- a. 密集・密接を防止するため、美術館入口における入場制限を順守する。
- b. 滞在時間は1時間以内
- c. 入場者数は30分75人、常時滞在人数合計は150人を限度とし、万一それ以上の来場者が見込まれる事態が発生すると予想される場合は、当会場入口受付にて入場制限を実施する。

(2) 注意項目

- a. 会場内での飲食は禁止
- b. 来場者休憩用の椅子、テーブルはありません。 閲覧後は速やかに退場してください。

当協同組合が発表会を開催する京都市京セラ美術館では下記の対策により開館されておられます。については、入館については京都市京セラ美術館の対策に従い感染予防を実施いたします。

京都市京セラ美術館の対策

【新型コロナウイルス感染予防のための当館の開館方針】

新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止のため、以下の対応で開館いたします。

① 事前予約制による観覧受付

不特定多数の来館者により、展示室内が過度に過密空間とならないよう、事前予約制による来館受付を実施しています。

② 来館者の体温チェック

来館時にメインエントランスにおいて、サーモグラフィー等による体温チェックを実施します。事前予約をされていても、当日 37.5 度以上の熱がある場合は入場いただけませんのでご了承ください。

【お客様へのお願い】

- ・館内ではマスクの着用が必要です。未着用の場合は、ご入館いただけませんので、あらかじめご了承ください。
- ・手洗い、手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日 37.5 度以上の熱がある場合は予約していても入場いただけません。
- ・人と人との間隔の確保をお願いします。(2m 目安)
- ・観覧時間は 1 展覧会につき 1 時間以内とさせていただきます。
- ・以下の症状をお感じの方はご来館をお控えください。
- ・風邪の症状がある
- ・倦怠感（強いだるさ）がある
- ・呼吸が困難である（息苦しい）
- ・過去 2 週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある

【美術館の予防対策】

- ・手指消毒液の設置
- ・手すりやコインロッカー等の定期的な消毒
- ・スタッフの検温、マスクの着用

【入館までの流れ】

① ご予約

- ・希望日・来館の時間を 1 つだけお選びください。先着順で定員になり次第受付を終了します。
- ・同じ日に複数の展覧会を予約したい場合は、お手数をおかけしますが、展覧会ごとに新規で予約をしてください。
- ・予約者を含め合計 10 名まで予約が可能です。

- ・迷惑メール対策等の設定をされている方は、予約確定メールを正しく受信できるよう、「@reserva.be」のドメイン受信設定をお願いします。

② 当日の受付

- ・ご予約された時間内にメインエントランスへお越しください。
- ・(予約時刻より早く到着された場合は時間まで館内には入場できず、屋外でお待ちいただくことになります。熱中症予防のため時間どおりの来場にご協力ください。)
- ・複数名様での予約の際は、来館者全員が揃ってから受付を行います。
- ・予約登録いただいたご本人様のみが入場できます。
- ・入場時に本人確認（同伴者含む）を行う場合がございます。
- ・(他人への譲渡、転売は固くお断りいたします。万一、他人への譲渡、転売行為が判明した場合には入場をお断り/予約をキャンセルさせていただく場合もございます。)

(別表) 感染疑い発生時の対応マニュアル

1 入場時の体調確認にて体調不良者が発生した場合の対応

主催者による検温等で、「風邪の症状、37.5 度以上の熱、倦怠感（強いだるさ）、呼吸が困難（息苦しい）」等の症状を確認したとき。

⇒主催者にて入場を控えるようお伝えし、帰宅を促すとともに、「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」を渡し、可能な限り連絡先を確認する。

対応後、速やかに美術館事務所に連絡する。

⇒帰宅が困難な症状の場合は、美術館事務所に連絡のうえ、協同組合担当者同行のもと指定する救護スペースへ移動する。移動後「2 催事中に体調不良者が発生した場合の対応」の対応を行う。

2 催事中に体調不良者が発生した場合の対応

協同組合が催事中に「風邪の症状、37.5 度以上の熱、倦怠感（強いだるさ）、呼吸が困難（息苦しい）」等の症状がある来場者を確認した場合は、直ちに美術館事務所に連絡するとともに、協同組合担当者のもと指定する救護スペースへ移動する。

⇒救護スペースにて、美術館事務所立会いのもと協同組合担当者とともに患者の健康状況を確認し、その結果を基に、美術館事務所が救急車の要請等を行う。

⇒救急搬送後は、美術館事務所が関係機関に消毒等の対応を確認し、協同組合担当者とともに適切な処置を行う。

【適切な処置の範囲】

3 催事後にコロナ罹患者が発生した場合の対応

催事後に、催事関係者・来場者がコロナに感染した場合には、速やかに協同組合担当者より、コロナ罹患者の来場日時等、詳細情報を美術館事務所に報告する。

美術館事務所から関係機関に連絡し、消毒等の対応を確認し適切な処置を行うとともに、公表方法等を含めたその後の対応等について、関係機関・協同組合担当者・美術館事務所の3者で協議する。

【関係機関連絡先】

〈平日〉 保健福祉局医療福祉センター感染症対策担当：075-746-7200

〈土日祝日〉 京都市帰国者・接触者電話相談センター：075-222-3421